

はじめの一步

校長 中澤 道則

春、サクラの季節。新入生、新入社員、新年度…。日本の4月は様々な「はじめの一步」で始まります。

さて、昨年度の創立50周年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中ではありましたが、実行委員会をはじめとする地域・保護者の皆様のご協力の元で、そして何よりも子ども達の頑張りで充実したものとなりました。素敵な記念誌に50周年記念ムービー、記念品にサクラ（アマノガワ）の記念植樹。どれをとっても皆様のお力なくしては成しえなかったものと深く感謝申し上げます。



そして迎えた令和4年度。和泉小学校は今年度、51年目を迎えます。51年目は創立100周年に向けての「はじめの一步」です。本校では昨年度、「笑顔、幸はふ」学校づくりを目指して教育活動を進めてまいりました。コロナ禍で様々な制約がある中ではありましたが、子ども達は、それに負けないでたくさんの素敵な姿を見せてくれました。「進んで挨拶をする姿」、「学習に真剣に取り組む姿」、「困っている友達を思いやる姿」…。「はじめの一步」の今年度は、そんな子ども達の素敵な姿を、創立100周年に向けて「子ども達の文化」としていく大切な年です。創立100周年の年には、今の6年生は60歳を超えています。そんな子ども達が創立100周年の子ども達の姿を見て「『きちんとあいさつが出来る』っていう文化は私たちが作った文化なんだよ」と胸を張って言えるような、そんな1年にしていきたいと思っています。



今日、76名の新入生を迎え、そして在校生も1学年ずつ進級して、和泉小学校は100周年に向けての「はじめの一步」を歩み始めました。昨年度、50周年を記念して植樹したサクラ（アマノガワ）も開花する時を待って、蕾を大きく膨らませています。子ども達もまた新しい学年での学校生活に向けて、期待に胸を膨らませていることでしょうか。そんな子ども達の思いを大切にしながら、今年度も子ども達みんなが、安心して、豊かに学校生活を送ることができるよう、教職員一同、努めてまいります。保護者・地域の皆様にお

かれましては、今年度も引き続きご理解、ご協力賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。